

# 企業チーム打倒に闘志

和歌山箕島球友会 県や支局訪問

## 社会人野球 日本選手権

今月上旬に西武プリンスドーム（埼玉県所沢市）で行われた第40



全日本クラブ野球選手権大会の優勝旗や盾を携えて毎日新聞和歌山支局を表敬訪問した和歌山箕島球友会の西川監督（左端）と選手たち一和歌山市で

回全日本クラブ野球選手権大会（毎日新聞社、日本野球連盟主催）で2年ぶり3回目の優勝を果たした和歌山箕島球友会の選手、監督ら

が17日、和歌山市の県

庁や毎日新聞和歌山支局を表敬訪問した。優勝を報告し、出場を決めた第41回社会人野球日本選手権大会（10月下旬から京セラドーム

大阪、毎日新聞社、日本野球連盟主催）に向けての意気込みを語った。

県庁で西川忠宏監督は「日本選手権は厳しい戦いになるが、打倒企業チームを掲げて戦ってきます」とあいさ

つした。仁坂吉伸知事は「勝負は水物ですから、強豪を食って日本一になってください」と激励。関係者が「予定が合えば球場に足を運んで下さい」と知事に呼びかけた。

支局では坂口佳代支局長が「クラブ選手権は（優勝すれば出場権が得られる日本選手権の）予選のつもり」と話しておられました

が、言葉通りになりましたね」と祝福した。

西川監督や浦川拓人主将らは「どの試合も苦しかったが、若い投手の粘りの投球に、打線が終盤で奮起した」と振り返った。

【高橋祐貴、矢倉健次】

## 2年ぶりのV祝う

全日本クラブ 和歌山箕島球友会  
野球選手権

西武プリンスドーム（埼玉県所沢市）で行われた第40回全日本クラブ野球選手権大会（毎日新聞社、日本野球連盟主催）で2年ぶり3回目の優勝を果たした和歌山箕島球友会の祝勝会が14日、和歌山市七番丁のダイワロ

イネットホテル和歌山で行われた。選手26人中23人が勤務する「松源」の相撲部員が腕を振った約100人分の特製ちゃんこ鍋が選手らにふるまわれ、大会で活躍した選手にチームの桑原太郎理事長と西川忠宏

監督からサプライズで賞が贈られた。理事長賞は準決勝などで勝負強い打撃を見せた水田信一郎選手（27）。監督賞は3勝を挙げ大会の最高殊勲選手にも選ばれた寺岡大輝投手（22）、首位打者賞を獲得した平井徹選手（24）、準決勝で好救援を見せた北面成也投手（23）の3選手に贈られた。

箕島球友会はこの優勝で、10月下旬から11日間、京セラドーム大阪（大阪市西区）で開かれる第41回社会人日本選手権大会の出場権を獲得。過去3回の出場は初戦敗退しているだけに浦川拓人主将（26）は「今年こそ、悲願の初戦突破を果たしたい」と誓った。

大会は10月9日に組み合わせ抽選が行われる。【高橋祐貴】

箕島球友会はこの優勝で、10月下旬から11日間、京セラドーム大阪（大阪市西区）で開かれる第41回社会人日本選手権大会の出場権を獲得。過去3回の出場は初戦敗退しているだけに浦川拓人主将（26）は「今年こそ、悲願の初戦突破を果たしたい」と誓った。



社会人日本選手権大会に向けて抱負を語る浦川主将（手前）一和歌山市七番丁のダイワロイネットホテル和歌山で